

# マテリアリティ(優先課題)

KOITOグループの取り組みは、2015年9月に国連が採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」との親和性・関連性が高く、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献できると考えています。

これらの取り組みを加速するため、GRI(Global Reporting Initiative)のガイドラインを参照し、KOITOグループが特に注力していくマテリアリティ(優先課題)と解決すべきSDGsを、さまざまな社会課題の中から特定し、活動を推進しています。

今後も事業活動を通じたSDGsの達成に貢献してまいります。

マテリアリティの特定プロセスは、当社ホームページ「マテリアリティ(優先課題)の特定」サイトをご参照ください。  
URL: <https://www.koito.co.jp/csr/materiality/>



## 小糸グループ行動憲章

当社グループは、「光」をテーマとして顧客のニーズを創造し、社会の進歩発展に貢献するとともに、株主・顧客・従業員・取引先等すべてのステークホルダーとの共存共栄を図ることを経営の基本方針とする。

この基本方針に則り、次の10原則を制定し、企業に求められる国内外のあらゆる法令、国際ルール、及びその精神を遵守することはもとより、企業倫理に沿った企業行動を実施する。

更に、社会の持続可能な成長に向け、事業活動を通じた社会的課題の解決を図るとともに、社会的責任を果たしていく。

|                        |           |                         |           |
|------------------------|-----------|-------------------------|-----------|
| 1 持続可能な成長と社会的課題の解決     | P.18 P.48 | 6 働き方の改革と職場環境の充実        | P.24      |
| 2 信頼される企業活動            | P.49      | 7 環境問題への取り組み            | P.20 P.38 |
| 3 社会規範の遵守とグローバルな視野での経営 | P.60      | 8 社会への貢献                | P.53      |
| 4 公正な情報開示と建設的な対話       | P.53      | 9 反社会的勢力との関係遮断、リスク管理の徹底 | P.60 P.62 |
| 5 人権の尊重                | P.52      | 10 経営者の役割と本憲章の徹底        | P.54~58   |

## マテリアリティ(優先課題)と取り組み状況

特定したマテリアリティに対し、KPI(Key Performance Indicator)と2030年度目標を設定、各種活動計画に落とし込み、社会課題の解決に貢献する活動を推進しています。

|       | マテリアリティ   | 関連するSDGs | 取り組み宣言  |
|-------|---|----------|---|
| 環境    | <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化防止 P.20 P.42</li> <li>環境負荷物質・廃棄物低減 P.44</li> <li>水資源の確保 P.45</li> </ul>   |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>「人と地球にやさしいものづくり」をテーマに、CO<sub>2</sub>排出量削減・環境負荷物質低減・資源循環等を推進します。</li> <li>主力製品の更なる省電力・軽量化に努め、CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献します。</li> </ul>   |
| 安全・安心 | <ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故低減 P.48</li> <li>持続可能な社会に貢献する技術開発 P.18</li> <li>製品の品質向上 P.49</li> </ul>  |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会に有用で安全・安心な製品・サービスを開発、提供することにより、持続可能な成長と社会的課題の解決を図ります。</li> <li>自動運転社会を見据え、センサ(LiDAR・カメラ等)を含めた製品開発を推進します。</li> <li>安全かつ高品質な製品・サービスを開発、提供し、お客様の満足と信頼を獲得します。</li> </ul>   |
| 企業基盤  | <ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンス P.60</li> <li>コーポレート・ガバナンス P.54</li> <li>情報セキュリティ P.63</li> <li>人材育成 P.24</li> <li>労働安全衛生 P.52</li> <li>働き方改革 P.24</li> <li>人権尊重 P.52</li> <li>減災体制 P.62</li> </ul> |          | <ul style="list-style-type: none"> <li>健全な経営体制の構築に向け、コーポレート・ガバナンスの充実、コンプライアンス強化を推進します。</li> <li>情報セキュリティ上のリスクに備え、情報資産の保護に努めます。</li> <li>従業員一人ひとりが能力を最大限発揮し、安全・安心で生き生きと働けるよう職場環境を整備します。</li> <li>すべての人々の人権を尊重する取り組みを推進します。</li> <li>サプライチェーン全体での減災体制を強化します。</li> </ul> |

| KPI                 | 2020年度実績 | 2021年度実績 | 2030年度目標                         |
|---------------------|----------|----------|----------------------------------|
| CO <sub>2</sub> 排出量 | 59.8kt   | 56.7kt   | 36.9kt (2013年度比△50%)             |
| VOC排出量              | 220t     | 192t     | 2018年度(299t)以下継続 (2025年度目標)      |
| 廃棄物量原単位(t/億円)       | 1.17     | 1.20     | 2018年度比△7%(1.28)以下継続 (2025年度目標)  |
| 水使用量原単位(t/百万円)      | 3.26     | 3.41     | 2018年度比△7%(3.51)以下継続 (2025年度目標)  |
| ヘッドランプに占めるLED比率※    | 64%      | 70%      | 100%                             |
| ヘッドランプに占めるADB比率※    | 5%       | 5%       | 20%                              |
| LiDAR市場投入           | —        | —        | 2023年度 KOITO初投入<br>2025年度 次世代品投入 |
| リコール件数              | 4件       | 0件       | 0件                               |
| 小糸グループ行動憲章 認知率      | 91%      | 97%      | 100%                             |
| 重大法令違反件数            | 0件       | 0件       | 0件                               |
| 情報セキュリティ重大事故件数      | 0件       | 0件       | 0件                               |
| 従業員一人当たりの研修時間       | 9.6時間    | 10.2時間   | 15時間以上                           |
| 労働災害度数率             | 0        | 0        | 0                                |
| 女性管理職比率             | 1.3%     | 1.4%     | 3.0%以上                           |

※KOITOグループ